

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 4 版）

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 転 移 性 腎 細 胞 が ん 患 者 を 対 象 と し た I-O based combination therapy 後の TKI 治療の有効性と安全性に関する多施設共同後方視的観察研究
	●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究施設において、転移性腎細胞がんの一次治療としてイピリムマブ+ニボルマブ、ペンブロリズマブ+アキシチニブ、アベルマブ+アキシチニブ、ニボルマブ+カボザンチニブのいずれかの治療を受け、さらに二次治療としてスニチニブ、パゾパニブ、アキシチニブ、カボザンチニブ、ソラフェニブのいずれかの治療を受けられた方
	●研究の目的 転移性腎細胞がんの一次治療と二次治療には複数の選択肢があります。どの一次治療を受けた場合に、どの二次治療を行うのが最適であるかどうか、あるいはどのような特徴を持つ腎細胞がんに対してどの治療が有効であるかについては、不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、最適な二次治療薬が何かを明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2026 年 3 月 31 日まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、各機関の研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。
《利用し、又は提供する試	●研究に使用する試料・情報 病歴、生年月、治療歴、治療効果、死亡、副作用等の発生状

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 4 版）

料・情報の項目	況 等
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 北海道大学病院 泌尿器科 大澤 崇宏 弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 畠山 真吾 東北大学病院 泌尿器科学分野 伊藤 明宏 秋田大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座 沼倉 一幸 山形大学医学部 腎泌尿器外科学講座 土谷 順彦 筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 神鳥 周也 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 泌尿器科 常樂 晃 帝京大学医学部 泌尿器科学講座 中川 徹 東京慈恵会医科大学附属病院 泌尿器科 木村 高弘 国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科 松井 喜之 東京科学大学 泌尿器科 田中 一 東京女子医科大学 泌尿器科 高木 敏男 千葉大学医学部附属病院 泌尿器科 佐塚 智和 国際医療福祉大学成田病院 腎泌尿器外科 井上 高光 東京慈恵会医科大学附属柏病院 泌尿器科 三木 淳 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学 山名 一寿 国立大学法人信州大学医学部 泌尿器科 原 寛彰 山梨大学 泌尿器科学講座 三井 貴彦 富山大学附属病院 腎泌尿器科 西山 直隆 静岡県立総合病院 泌尿器科 吉村 耕治 奈良県立医科大学 泌尿器科学 三宅 牧人 和歌山県立医科大学 泌尿器科 柑本 康夫 京都大学医学部附属病院 泌尿器科 小林 恭 京都府立医科大学 泌尿器科 本郷 文弥 大阪公立大学医学部附属病院 泌尿器科 大年 太陽 関西医科大学附属病院 腎泌尿器外科 谷口 久哲 近畿大学医学部 泌尿器科 藤田 和利 神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 千葉 公嗣 兵庫県立がんセンター 泌尿器科 倉橋 俊史 広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学 日向 信之 徳島大学病院 泌尿器科 古川 順也

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 4 版）

	香川大学医学部 泌尿器科学 杉元 幹史 独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 泌尿器科 松村 正文 九州大学病院 泌尿器科 江藤 正俊 産業医科大学 泌尿器科学 藤本 直浩 医療法人原三信病院 泌尿器科 横溝 晃 久留米大学医学部 泌尿器科学 植田 浩介 熊本大学病院 泌尿器科学講座 元島 崇信 宮崎大学 医学部 発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野 賀本 敏行 鹿児島大学病院 泌尿器科 鑪野 秀一 愛知県がんセンター 泌尿器科 小島 崇宏
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 松下 雄登
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

2025 年 5 月 16 日

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 4 版）

《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 泌尿器科学講座 担当者： 松下 雄登 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： yuto.m@hama-med.ac.jp